

～下記の研究を行います～

【間質性肺炎患者における入浴関連動作時の SpO₂ 低下と認知機能との関連性の検討】

当院では、以下の臨床研究を実施しております。

【研究課題名】 間質性肺炎患者における入浴関連動作時の SpO₂ 低下と認知機能との関連性の検討

【研究責任者】 宅本怜央（リハビリテーション科・作業療法士）

【研究の目的】 本研究の目的は、間質性肺炎患者において入浴時の SpO₂ の低下と認知機能検査のスコアとの関連性を明らかにすることである。特に、認知機能の状態が入浴動作指導の理解や動作の習得、呼吸状態の自己管理にどのように影響しているかを検討する。

これにより、単なる動作指導にとどまらず、認知機能に応じた個別化された支援方法の必要性を示し、安全な入浴動作の獲得の支援に資する知見を得ることを目指す。

【研究の期間】 研究許可日～2026 年 9 月 15 日

【研究の方法】 間質性肺炎患者に対して入浴関連動作時の SpO₂ と認知機能検査（Japanese version of Montreal Cognitive Assessment）の点数を測定し、それらの関連性を検討する

●対象となる患者さん

当院で 2026 年 9 月 15 日までに作業療法を受けた 40 歳以上の男女で、間質性肺炎の診断を受けたまたは既往のある患者

●研究に用いる試料・情報の種類

入浴時 SpO₂ 値、酸素使用量、患者背景（年齢、性別、BMI、喫煙歴、既往歴等）、呼吸機能（VC, FVC, FEV, FEV1.0%, DLCO 等）、認知機能検査のスコア（Japanese version of Montreal Cognitive Assessment）等

【研究の資金源】

なし

【利益相反】

臨床研究における利益相反（COI（シーオーアイ）：Conflict of Interest）とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

本研究は、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反はありません。

- ◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
- ◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
- ◎試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

国立病院機構姫路医療センター リハビリテーション科

〒670-8520 姫路市本町 68

TEL (079) 225-3211 (代)

研究責任者 リハビリテーション科 作業療法士 宅本怜央